

観光部略年表

観光は、宿泊、運輸、飲食・小売その他のサービス業、さらには製造業や農林水産業など、幅広い産業に波及する裾野の広い総合産業であることから、令和6年度から令和10年度までを計画期間とする観光基本計画を策定し、官民が一体となって観光振興に取り組んでいる。

- | | |
|-------------|---|
| 1922（大正11年） | ・ 8月1日市制施行 |
| 1935（昭和10年） | ・ 7月1日を開港記念日と定め、第1回港まつりを挙（開港77年）
・ 函館観光協会設立 |
| 1946（昭和21年） | ・ 函館山を一般に開放 |
| 1952（昭和27年） | ・ 北洋漁業再開（関連産業の復興始まる）
・ 五稜郭跡の特別史跡指定 |
| 1954（昭和29年） | ・ 北洋漁業再開記念北海道大博覧会開催 |
| 1957（昭和32年） | ・ 函館物産協会設立 |
| 1958（昭和33年） | ・ 高田屋嘉兵衛銅像（建立）除幕
・ 函館山ロープウェイ営業開始（30人乗り）
・ 函館開港100年記念式典挙（行） |
| 1960（昭和35年） | ・ 函館空港ターミナルビル完成（翌年、定期航空路営業開始 函館～札幌） |
| 1964（昭和39年） | ・ 五稜郭タワー完成（旧タワー：高さ60m）
・ 函館～大間間にカーフェリー就航 |
| 1966（昭和41年） | ・ 函館港まつり、8月開催となる |
| 1970（昭和45年） | ・ 第1回箱館五稜郭祭開催 |
| 1971（昭和46年） | ・ 函館空港拡張工事（2,000m滑走路およびターミナルビル等）完成、
中距離ジェット機就航 |
| 1973（昭和48年） | ・ はこだてグリーンプラザA、Bブロック開園（翌年、Cブロック開園）
・ 第一次オイルショック、漁業専管区域200海里により、造船業、水産加工業などが大きな影響を受ける |
| 1974（昭和49年） | ・ 旧函館区公会堂、重要文化財に指定 |
| 1978（昭和53年） | ・ 函館空港2,500m滑走路完成（翌年、エアバス就航） |
| 1980（昭和55年） | ・ 函館～名古屋線航空路開設 |
| 1982（昭和57年） | ・ 元町公園開園
・ 旧北海道庁函館支庁庁舎の保存修理、元町観光案内所を開設
・ 函館市観光基本計画策定
・ カナダ ハリファックス市と国際姉妹都市提携 |
| 1983（昭和58年） | ・ 重要文化財・旧函館区公会堂、一般公開
・ 函館ハリストス正教会復活聖堂、重要文化財に指定 |
| 1986（昭和61年） | ・ 第1回はこだて冬フェスティバルを開催 |
| 1987（昭和62年） | ・ 函館・大沼地区の国際観光モデル地区指定 |
| 1988（昭和63年） | ・ 青函トンネル・津軽海峡線開業
・ 青函連絡船、80年の歴史に幕を閉じる |

- 1989（平成元年）

- ・函館山展望台の増改築, 125人乗り大型ロープウェイ運行開始
 - ・青函トンネル開通記念博覧会開催（7月9日～9月18日）
 - ・青森市とツインシティ（双子都市）提携
 - ・国際観光都市宣言
 - ・函館～東京線航空路ダブルトラック（JAL就航）
- 1990（平成2年）

- ・函館～大阪線航空路, 18年ぶりに再開
 - ・函館シーポートプラザ開業
 - ・夜の観光資源を創造するファンタジー・フラッシュ・タウン計画（ライトアップ）始まる
 - ・函館港まつり一万人踊りパレード五稜郭コース始まる
- 1992（平成4年）

- ・観光客入込み数が初めて 500万人を超える（平成3年度）
 - ・旧イギリス領事館（開港記念館）開館
 - ・ロシア ウラジオストク市, オーストラリア レイクマコーリー市と国際姉妹都市提携
- 1994（平成6年）

- ・新函館市観光基本計画策定
 - ・函館～ユジノサハリンスク国際定期航空路開設
- 1995（平成7年）

- ・函館市写真歴史館開館
 - ・（社）函館観光協会が（社）函館国際観光協会に名称変更
 - ・観光大使設置
 - ・函館コンベンションビューロー設立
- 1996（平成8年）

- ・函館～大阪線航空路ダブルトラック化（JAL就航）
 - ・函館～仙台線航空路開設
- 1997（平成9年）

- ・ロシア ユジノサハリンスク市と国際姉妹都市提携
- 1998（平成10年）

- ・函館～新千歳線, 函館～旭川線および函館～釧路線航空路開設
 - ・第1回はこだてクリスマスファンタジー開催
- 1999（平成11年）

- ・（社）函館国際観光協会と函館コンベンションビューローが合併し,（社）函館国際観光コンベンション協会に名称変更
 - ・函館空港滑走路が3,000mに拡張
 - ・函館～女満別線航空路開設
- 2001（平成13年）

- ・元町観光駐車場オープン
 - ・旧岩船氏庭園「香雪園」（見晴公園）が国の名勝に指定
 - ・中国 天津市と友好交流都市提携
- 2002（平成14年）

- ・ペリー来航150周年記念事業開催
 - ・第1回函館塩ラーメンサミット開催
- 2003（平成15年）

- ・五稜郭観光駐車場オープン
 - ・JR函館新駅開業
 - ・はこだてフィルムコミッション設立
 - ・函館～丘珠線ダブルトラック化（HAC就航）
- 2004（平成16年）

- ・函館市観光基本計画（2004-2013）策定
 - ・戸井町, 恵山町, 榎法華村, 南茅部町を編入合併
- 2005（平成17年）

- ・函館駅前広場完成
 - ・函館～羽田線トリプルトラック化（ADO就航）

- ・函館空港ターミナルビル増改築オープン
- ・北海道新幹線新青森～新函館間建設着工
- ・はこだて・シー・コンベンション2005開催
- ・函館ひかりの屋台・大門横丁オープン
- 2006(平成18年)
 - ・新五稜郭タワー完成（高さ107m）
 - ・函館～ソウル国際定期航空路開設（週3便：日，火，木曜日）
 - ・函館市夜景グレードアップ構想・基本計画策定
- 2007(平成19年)
 - ・函館～青森間新型高速フェリー就航(ナッチャンRera)（～2008.10）
 - ・「中空土偶」が北海道内唯一の国宝に指定
- 2008(平成20年)
 - ・観光コンベンション部発足
 - ・観光情報サイト「はこぶら」の開設
- 2009(平成21年)
 - ・旧イギリス領事館（開港記念館）の展示物リニューアル
 - ・開港150周年記念事業開催
 - ・第1回はこだてMOMIーGフェスタ開催
- 2010(平成22年)
 - ・「はこだて観光圏」の認定
 - ・JRA函館競馬場リニューアルオープン
 - ・箱館奉行所復元オープン
 - ・東北新幹線新青森開業
- 2011(平成23年)
 - ・東日本大震災
 - ・「ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン」において
市内21地点が星を獲得（「函館山からの眺望」は三つ星）
 - ・韓国 高陽（コヤン）市と国際姉妹都市提携
 - ・函館市縄文文化交流センターオープン
 - ・全国産業観光フォーラムinはこだて開催
- 2012(平成24年)
 - ・「ミシュランガイド北海道2012特別版」刊行
 - ・北前船寄港地フォーラムinはこだて開催
 - ・函館港まつりにディズニーパレード招へい(市制施行90周年記念事業)
 - ・北海道新幹線新函館～札幌間建設着工
 - ・函館～台北国際定期航空路開設（復興航空）
 - ・第1回はこだてグルメサーカス開催（市制施行90周年記念事業）
 - ・函館～台北国際定期航空路開設（エバー航空）
- 2013(平成25年)
 - ・青函圏観光都市会議設立（青森，弘前，八戸，函館の4市で構成）
 - ・函館国際観光コンベンション協会が「一般社団法人」に移行
 - ・函館～大阪（伊丹）線定期航空路，8年ぶりに再開（JAL）
 - ・JRA函館競馬24日開催（札幌競馬場のスタンド改築等のため）
 - ・GLAY野外ライブ「GLORIOUS MILLION DOLLAR NIGHT Vol.1」開催
 - ・函館港まつりで「青森ねぶたの海上運行」実施
 - ・函館～三沢線航空路開設（HAC）
 - ・函館ロゴマークの作成
- 2014(平成26年)
 - ・観光部発足（観光コンベンション部から名称変更）
 - ・函館市観光基本計画（2014-2023）策定
 - ・五稜郭築造150年祭開催

- ・北海道新幹線開業 青函圏・みなみ北海道連絡会議設立
（函館，道南，胆振・後志地方，青森県内の自治体で構成）
- 2015（平成27年）
 - ・函館～天津国際定期航空路開設（天津航空）
 - ・観光部内の組織見直し（4課体制：観光企画課，コンベンション推進課，観光推進課，国際観光課）
 - ・函館市観光案内所の改修
 - ・函館～北京国際定期航空路開設（中国国際航空）
 - ・「GLAYと宝探し」開催
 - ・函館アリーナこけら落とし公演
「GLAY Special Live at HAKODATE ARENA
GLORIOUS MILLION DOLLAR NIGHT Vol.2」開催
 - ・函館アリーナオープン
 - ・函館～杭州国際定期航空路開設（中国東方航空）
- 2016（平成28年）
 - ・ふるさと祭り東京2016に大型ブース出展
 - ・北海道新幹線新函館北斗駅開業
 - ・新幹線開業おもてなし事業実施
（おもてなし隊（観光案内，幕末衣装隊）設置，歓迎フラッグ掲出など）
 - ・函館市写真歴史館閉館
 - ・青函圏周遊博開催
 - ・青森県・函館デスティネーションキャンペーン実施
 - ・東京ディズニーシー15周年スペシャルパレード開催（函館港まつり）
 - ・函館～台北国際定期航空路開設（タイガーエア台湾）
 - ・第5回はこだてグルメサーカスに東北6県お祭りパレードを招へい，お祭り広場設置（北海道新幹線開業記念事業）
- 2017（平成29年）
 - ・外国人観光コンタクトセンター開設
 - ・中国向け観光PR動画配信開始
 - ・みなみ北海道・北東北食旅フェスタin仙台へのブース出展
- 2018（平成30年）
 - ・フェスティバルタウンウェブページ開設
 - ・GLAY野外ライブ「GLORIOUS MILLION DOLLAR NIGHT Vol.3」
 - ・中国デジタルプロモーション（動画配信，生放送アプリによるKOL招請ライブ配信，ブロガー招請）の実施
 - ・北海道ドラマティックロード推進協議会の設置
 - ・「恋人たちのまち函館」プロモーションの実施
 - ・胆振東部地震の影響により第7回はこだてグルメサーカスを中止
 - ・第1回はこだてひかりのガーデン開催
- 2019（令和元年）
 - ・函館山麓観光駐車場の整備（令和2年4月有料化）
 - ・第1回湯の川冬の灯り開催
- 2020（令和2年）
 - ・新型コロナウイルス感染症の世界的流行
 - ・函館市グルメクーポンの発行
 - ・新型コロナウイルス感染症の影響により函館港まつり，はこだてグルメサーカスを中止
 - ・外国人観光客向けAIチャットボットの導入

- ・縄文文化通訳ガイド人材バンクの創設
- ・冬季誘客促進事業（宿泊料金助成，グルメクーポン，はこだて週末冬花火，はこだて光の万華鏡（元町公園会場は新型コロナウイルス感染症の影響により中止））の実施
- 2021（令和３年）
 - ・新型コロナワクチン接種の開始
 - ・函館市観光誘客促進事業「はこだて割」第１弾の実施
 - ・新型コロナウイルス感染症の影響により函館港まつり，はこだてグルメサーカスを中止
 - ・二次元アイドルグループ『HAKOMEN（ハコメン）』を活用した非接触型函館観光プロモーションの実施
 - ・北海道・北東北の縄文遺跡群が世界文化遺産に登録
- 2022（令和４年）
 - ・３年ぶりに函館港まつりを縮小開催
 - ・３年ぶりにはこだてグルメサーカスを開催
 - ・「Wechat」を活用した中国デジタルプロモーションの実施
 - ・函館市観光誘客促進事業「はこだて割」第２弾・第３弾の実施
- 2023（令和５年）
 - ・函館市観光基本計画（2024－2028）策定
 - ・函館港まつりを通常規模で開催
 - ・観光情報サイト「はこぶら」のリニューアル
 - ・観光パンフレット「Oh!Hakodate!」の作成
 - ・函館市観光PR動画の作成
 - ・観光大使新規募集停止
 - ・HAKODATE FREE Wi-Fiの再整備を実施
 - ・函館～台北国際定期便開設（タイガーエア台湾，スターラックス）
 - ・函館～香港国際季節便開設（香港航空）
- 2024（令和６年）
 - ・「函館×名探偵コナン」特別イベント開催
 - ・アメリカ市場プロモーションの実施
 - ・イーストジャパン・キャンペーンの実施
 - ・SNSを活用した新制度「＃ハコラブ」の実施
 - ・函館山山頂の混雑緩和を図る実証実験の実施
- 2025（令和７年）
 - ・「はこだてグルメサーカス」が「グルメワンダーパーク函館」にリニューアル
 - ・観光入込客数が初めて600万人を超える（令和6年度）
 - ・観光部内の組織見直し（2課4部門体制：観光総務課，観光推進課）
 - ・函館～仁川国際定期便開設（チェジュ航空）
 - ・ANA函館空港ナイトステイ開始
 - ・港まつりでGLAYテルの「ワッショイはこだて」初披露
 - ・青森県，北海道道南地域が重点共創エリアに指定されたことおよび北海道新幹線開業10周年に係る事業の実施
 - ・函館市宿泊税条例を議決，函館市宿泊税について総務大臣同意
- 2026（令和８年）
 - ・函館市宿泊税の課税開始
 - ・特別イベント「ゴールデンカムイ 黄金に染まる函館」を実施
 - ・ユニバーサルツーリズム推進事業の実施

- ・「日本・シンガポール外交関係樹立60周年」を契機とし、弘前市とシンガポール現地プロモーションを実施
- ・ニセコエリアにおいて、現地プロモーション（リアルプロモーション、デジタルサイネージ、リーフレット設置）を実施
- ・はこだてMOMI-Gフェスタにてカラーライトを導入
- ・冬季イベントを「（仮称）はこだてウィンターイルミネーション」に統一し、実施
- ・「縄文文化通訳ガイド人材バンク」を「函館市ローカルガイド人材バンク」に再編
- ・観光駐車場の料金改定（元町観光駐車場、函館山山麓観光駐車場）
- ・観光駐車場のキャッシュレス決済を導入（五稜郭観光駐車場、函館山山麓観光駐車場）